タイムスケジュール【第１日目：11 月 21 日（土）】

	第１会場	第２会場		展示場
	看護学部棟４Ｆ・13411	看護学部棟４Ｆ・13402		看護学部棟４Ｆ 13413-13414
		08:30-9:00　評議員会		
9:00	09:00-9:05　開会式 09:10-9:55　理事長講演 /「食と医の架け橋」を築く：機能性食品医用学の挑戦と未来～超高齢社会における学会の社会的使命～演者：下澤達雄 / 座長：曽根博仁	09:10-10:00　一般演題１ 「糖代謝・炎症・認知機能と機能性食品」Y-1 ～ Y-5 座長：飯田薫子・山田靜雄		企業展示（09：30～17：15）
10:00	10:05-10:50　特別講演１ 「Cancer Prevention and Therapeutic Effects of Niacinamide - From Basic Research to Clinical Trials」 演者：Bae Suk-Chul ／座長：禹 済泰	10:05-10:55　一般演題２ 「心不全・腎障害・高尿酸血症と機能性食品」Y-6 ～ Y-10 座長：下澤達雄・曽根博仁		
11:00	11:00-12:20　シンポジウム１ 「健康長寿を支える地域薬局―薬剤師によるセルフメディケーション支援の実際―」 演者：吉岡優子・大屋克久・吉田萌生 座長：賀川義之・河西きよみ	11:05-11:55　一般演題３ 「腎障害・心不全と機能性食品・漢方薬」Y-11 ～ Y-15 座長：鷲澤尚宏・蒲池桂子		
12:00				
13:00	12:40-13:40　ランチョンセミナー１ 「クルクミンが拓く健康寿命の延伸：前臨床研究から高吸収製剤「クルクルージュ」の臨床エビデンスへ」 演者：長谷川浩二・中川泰彰・砂川陽一・金井雅史 / 座長：森本達也 共催：（株）セラバイオファーマ	12:40-13:40　ランチョンセミナー２ 「スプラウト（新芽）がもつ魅力と有用性について（間質性膀胱炎の臨床試験報告も添えて）」 演者：影山慎二 / 座長：山田靜雄 共催：（株）不二工芸製作所	12:40-13:40 将来計画 WG 薬学部棟３Ｆ （6329）	
14:00	13:50-14:05　総　会			
15:00	14:15-15:35　シンポジウム２ 「静岡県立大学発・薬食融合研究の最前線」 演者：熊澤茂則・細岡哲也・三好規之・黒川洵子 座長：細岡哲也・黒川洵子	14:15-15:15　一般演題４ 「認知障害・腎線維化と機能性食品」 O-1 ～ O-6 座長：岸本良美・田中龍一郎	14:15-15:15 編集委員会 看護学部棟３Ｆ （13302）	
16:00	15:45-16:30　特別講演２ 「緑茶の機能性；感染症予防を中心に」 演者：山田 浩 / 座長：吉田 博			
17:00	16:30-17:15　特別講演３ 「薬食同源を基盤とした健康科学の実践」演者：山田靜雄 / 座長：伊藤壽記			
18:00		懇親会 17:40-19:40 Suzuyo Mirai Hall （学生ホール）		
19:00				

タイムスケジュール【第２日目：11 月 22 日（日）】

	第１会場 看護学部棟４Ｆ・13411	第２会場 看護学部棟４Ｆ・13402	展示場 看護学部棟４Ｆ 13413-13414
9:00	09:00-9:45　会長講演 「機能性食品の展開医療研究〜基礎から臨床へ〜」 演者：森本達也 / 座長：新井英一		企業展示（09：00〜14：30）
10:00	09:55-11:15　スポンサードシンポジウム 「台湾における機能性食品市場の展開と日台連携の可能性：法規制・エビデンス構築・市場導入支援の視点から」 演者：洪 志駿・河野光登・陳 俊榮 座長：洪 志駿・渡邉泰雄	09:55-10:55　一般演題５ 「機能性食品に関する多彩な研究」 O-7 〜 O-12 座長：多賀昌樹・青山敏明	
11:00			
12:00	11:25-12:45　シンポジウム３ 「食品素材の機能性研究の最前線―基礎から健康長寿への展開―」 演者：佐藤健司・渡邉泰雄・澤下仁子・杉山 篤 座長：山田靜雄・佐藤健司	11:25-12:05　一般演題６ 「腸内細菌・筋分化・脂肪細胞・高血糖と機能性食品」O-13 〜 O-16 座長：矢野友啓・木内俊介	
13:00	13:05-14:05　ランチョンセミナー３ 「食品成分による血管機能への影響〜カロテノイドとポリフェノール〜」 演者：越阪部奈緒美 / 座長：三好規之 共催：カゴメ（株）		
14:00	14:15-15:35　シンポジウム４ 「ノビレチン研究の新展開―多様な生理活性と医療応用への可能性―」 演者：禹 済泰・砂川陽一・野口和雄・金子雪子 座長：禹 済泰・三浦伸一郎		
15:00			
16:00	15:45-16:05　閉会式・表彰		
17:00			
18:00			
19:00			

詳細プログラム　【第１日目：11 月 21 日（土）】

第１会場（看護学部棟４Ｆ・13411）

●開会式　挨拶　09:00-09:05

森本達也（第 24 回日本機能性食品医用学会総会 会長），山田靜雄（同総会 プログラム委員長）

●理事長講演　09:10-09:55

座長：曽根博仁（新潟大学大学院）

「食と医の架け橋」を築く：機能性食品医用学の挑戦と未来～超高齢社会における学会の社会的使命～

下澤達雄（国際医療福祉大学大学院臨床医学系臨床検査医学）

●特別講演１　10:05-10:50

座長：禹 済泰（中部大学）

Cancer Prevention and Therapeutic Effects of Niacinamide - From Basic Research to Clinical Trials

Bae Suk-Chul（Department of Biochemistry, College of Medicine, Chungbuk National University）

●シンポジウム１　健康長寿を支える地域薬局―薬剤師によるセルフメディケーション支援の実際―11:00-12:20

座長：賀川義之（静岡県立大学），河西きよみ（さくらんぼ薬局 / 一般社団法人静岡市薬剤師会）

S1-1．地域に根ざしたセルフケア支援の 10 年―健康サポート薬局の実践と保険薬局の役割

吉岡優子（(有）静岡健康企画たまち薬局）

S1-2．調剤だけではない，地域住民の健康を支える薬局づくり

―日常の健康相談から始めるセルフメディケーション支援―

大屋克久（大平薬局）

S1-3．地域とつながる薬局が目指すセルフケア～多様な仲間とつくる健康な街～

吉田萌生（株式会社やまうち薬局）

●ランチョンセミナー１（共催：株式会社セラバイオファーマ）　12:40-13:40

クルクミンが拓く健康寿命の延伸：前臨床研究から高吸収製剤「クルクルージュ」の臨床エビデンスへ

座長：森本達也（東邦大学 / 静岡県立大学）

L1-1．クルクミン高吸収化技術の進展と臨床的意義
長谷川浩二（国立病院機構京都医療センター展開医療研究部）

L1-2．高吸収クルクミン（クルクルージュ®）の変形性膝関節症に対する短期臨床成績
—二重盲検前向き試験—
中川泰彰（日本バプテスト病院整形外科）

L1-3．高吸収性クルクミン製剤による心不全治療・予防への展開医療研究
砂川陽一（静岡県立大学薬学部分子病態学分野, 国立病院機構京都医療センター展開医療研究部）

L1-4．天然化合物クルクミンの抗腫瘍活性と抗がん薬耐性回避における臨床的優位性
金井雅史（関西医科大学附属病院臨床腫瘍科）

●総会　13:50-14:05

●シンポジウム２　静岡県立大学発・薬食融合研究の最前線　14:15-15:35

座長：細岡哲也（静岡県立大学），黒川洵子（静岡県立大学）

S2-1．ビーポーレンに含まれるポリアミドとその機能性
熊澤茂則（静岡県立大学食品栄養科学部食品生命科学科）

S2-2．腸内細菌代謝物 HYA による代謝改善作用と分子機構
細岡哲也（静岡県立大学薬学部分子病態学分野）

S2-3．ポリフェノール類の新機能：腸内細菌酵素 tyrosine phenol-lyase 阻害
三好規之（静岡県立大学食品栄養科学部）

S2-4．機能性食品開発における性差医学の必要性
○黒川洵子，渡邉康秀，清水聡史，児玉昌美（静岡県立大学薬学部生体情報薬理学分野）

●特別講演２　15:45-16:30

座長：吉田 博（東京慈恵会医科大学）

緑茶の機能性；感染症予防を中心に
山田 浩（静岡県立大学薬学研究院茶健康科学講座）

●特別講演 3　16:30-17:15

座長：伊藤壽記（大阪がん循環器病予防センター）

薬食同源を基盤とした健康科学の実践

山田靜雄（静岡県立大学大学院薬学研究院薬食研究推進センター）

第 2 会場（看護学部棟 4 F・13402）

●一般演題 1　糖代謝・炎症・認知機能と機能性食品　09:10-10:00

座長：飯田薫子（お茶の水女子大学），山田靜雄（静岡県立大学）

Y-1. *Moringa oleifera* 新鮮種子から得られた機能性成分

○茂山 蘭，元木 海，伊藤 優，小西元美，田中龍一郎（摂南大学薬学部）

Y-2. 機能性リグナン類の構造特異的な違いが生理機能に及ぼす影響

○長澤尚晟[1]，禹 済泰[2]，渡辺章夫[1]（1 十文字学園女子大学大学院人間生活学研究科，2 中部大学大学院応用生物学研究科）

Y-3. ソラマメタンパク質の加水分解物は，ヒト臍帯静脈内皮細胞（HUVECs）における高グルコース誘発性の炎症反応を抑制する

○佐々木裕之，櫻岡良平，沼野駿太，石原克之，増冨裕文（カルビー株式会社）

Y-4. 白トリュフ抽出物の RAW264.7 細胞における抗炎症・抗酸化作用の検討

○長谷川智加[1]，石黒 創[1]，鈴木浩史[1]，齋藤花菜[1]，加藤芽生[1]，郭 安韜[1]，中川沙織[2]，井口晃徳[3]，小西徹也[3]，渡辺賢一[1]，曽根博仁[1]（1 新潟大学血液・内分泌・代謝内科，2 新潟医療福祉大医療技術，3 新潟薬科大学応用生命）

Y-5. 腎虚血再灌流（IRI）モデルラットにおける認知機能低下と ω-3 多価不飽和脂肪酸の影響

○吉田紅葉（城西大学大学院薬学研究科薬科学専攻）

●一般演題 2　心不全・腎障害・高尿酸血症と機能性食品　10:05-10:55

座長：下澤達雄（国際医療福祉大学），曽根博仁（新潟大学大学院）

Y-6. 圧負荷心不全モデルマウスにおいて，ショウガ抽出物の 6-shogaol は心機能の低下を改善した

○川瀬裕斗[1]，砂川陽一[2]，清水果奈[2]，船本雅文[3]，刀坂泰史[2]，浜辺俊秀[2]，鳴田竜也[2]，長谷川浩二[4]，細岡哲也[2]，森本達也[5]（1 静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府分子病態学講座，2 静岡県立大学大学院薬学研究科分子病態学講座，3 徳島大学大学院医歯薬学研究部薬理学分野，4 国立病院機構京都医療センター展開医療研究部，5 東邦大学医学部薬理学講座）

Y-7. High throughput screening assay によって同定した RFN-409 は圧負荷による心肥大と左室収縮能低下を抑制した

○菊地菜央[1]，砂川陽一[1]，片桐宇大[1]，清水聡史[2]，川瀬裕斗[1]，小郷尚久[3]，浅井章良[3]，刀坂泰史[1]，細岡哲也[1]，森本達也[4]（1 静岡県立大学薬学部分子病態学分野，2 静岡県立大学薬学部生体情報

分子解析学分野，3 静岡県立大学薬学部創薬探索センター，4 東邦大学医学部薬理学講座）

Y-8. 急性腎障害（AKI）に対するω-3 多価不飽和脂肪酸の予防効果

○濵島琉希[1]，片倉賢紀[2]（1 城西大学大学院薬学研究科薬科学専攻栄養生理学講座，2 城西大学栄養生理学講座）

Y-9. 腎虚血再灌流処置モデル（腎障害）ラットにおける腎臓と腸の関係と乳酸菌産生物質摂取による保護効果

○西村 悠（城西大学大学院薬学研究科薬科学専攻栄養生理学講座）

Y-10. 半合成 E-桂皮酸グルコシドの高尿酸血症代替モデル評価

○横木健人[1]，池田晃陽斗[1]，三原慎ノ介[1]，大橋貴生[2]，田中龍一郎[1]（1 摂南大学薬学部，2 摂南大学理工学部）

●一般演題 3　腎障害・心不全と機能性食品・漢方薬　11:05-11:55

座長：鷲澤尚宏（東邦大学健康推進センター），蒲池桂子（日本栄養大学栄養クリニック）

Y-11. 腎虚血再灌流障害（IRI）モデルの骨に対する影響ω-3 多価不飽和脂肪酸による抑制効果

○村田日南乃[1], 片倉賢紀[2], 濵島琉希[2]（1 城西大学大学院薬学研究科薬科学専攻栄養生理学講座，2 城西大学栄養生理学講座）

Y-12. 高血糖刺激によるアンジオテンシノーゲン発現に対するノビレチンおよび PMF の作用

○飯島琴衣[1]，渡辺章夫[2]，禹 済泰[3]，川上和奏[2]，小林真樹[2]，高橋千尋[2]，中川心愛[2]，松田夏実[2]，茂木千春[2]，神山真澄[2]（1 十文字学園女子大学大学院人間生活学研究科食物栄養学専攻，2 十文字学園女子大学人間生活学部食品開発学科，3 中部大学応用生物学部応用生物化学科）

Y-13. クルクミン誘導体 GO-Y022 はクルクミンより低用量でマウスの圧負荷心不全を改善した

○前田諒子[1]，砂川陽一[1-3]，平子裕太[1]，川瀬裕斗[1]，鳴田竜也[1]，三浦昌朋[4]，柴田浩行[5]，刀坂泰史[1-3]，長谷川浩二[1,3]，細岡哲也[1-3]，森本達也[1-3,6]（1 静岡県立大学薬学部分子病態学分野，2 静岡県立総合病院，3 国立病院機構京都医療センター展開医療研究部，4 秋田大学大学院医学系研究科薬物動態学講座，5 秋田大学大学院医学系研究科臨床腫瘍学講座，6 東邦大学医学部薬理学講座）

Y-14. 柴苓湯はマウス圧負荷心不全モデルの収縮能低下を改善した

○坂 侑子[1]，砂川陽一[1-3]，前田理沙[1]，川瀬裕斗[1]，品川統也[1]，刀坂泰史[1-3]，浜辺俊秀[1,4]，長谷川浩二[1,3]，細岡哲也[1,2]，森本達也[1-3,5]（1 静岡県立大学薬学部分子病態学分野，2 静岡県立総合病院, 3 国立病院機構京都医療センター展開医療研究部, 4 浜松医科大学医学部神経生理学講座，5 東邦大学医学部薬理学講座）

Y-15. 心筋細胞肥大および心不全の発症・進展に重要な HAT 分子の同定

○品川統也[1], 砂川陽一[1], 前田諒子[1], 浜辺俊秀[1], 川瀬裕斗[1], 鳴田竜也[1], 刀坂泰史[1], 細岡哲也 1, 森本達也[2]（1 静岡県立大学薬学部分子病態学分野，2 東邦大学医学部薬理学講座）

●ランチョンセミナー２（共催：株式会社不二工芸製作所）　12:40-13:40

座長：山田静雄（静岡県立大学）

L2. スプラウト（新芽）がもつ魅力と有用性について（間質性膀胱炎の臨床試験報告も添えて）

○影山慎二[1]，前島靖勲[2]（1 かげやま医院，2 株式会社不二工芸製作所）

●一般演題４　認知障害・腎線維化と機能性食品　14:15-15:15

座長：岸本良美（摂南大学），田中龍一郎（摂南大学）

O-1. 温州ミカンの摂取が健常成人の血清 BDNF 濃度および気分状態に及ぼす影響：パイロット無作為化比較試験

○中島健輔，室 高広，大神正次，大磯 茂（長崎国際大学薬学部）

O-2. 軽度認知障害を有する高齢者における経口高吸収クルクミンの二重盲検無作為化比較試験

○勝浦保宏[1]，Mahendra P. Kapoor[1]，橋本 正[1]，小見山麻紀[2]，和田啓道[2]，山陰 一[3]，砂川陽一[4]，森本達也[5]，細岡哲也[4]，浅原哲子[6]，長谷川浩二[2]（1 株式会社セラバイオファーマ，2 国立病院機構京都医療センター展開医療研究部，3 国立病院機構京都医療センター臨床研究センター，4 静岡県立大学薬学部分子病態学分野，5 東邦大学医学部薬理学講座，6 国立長寿医療研究センター）

O-3. ラクトフェリンの神経突起伸長作用およびスコポラミン誘発性記憶障害に対する改善効果

○水上乃愛[1]，青木亮憲[2]，澁谷昌幸[1]，東方優大[1]，古川 恵[1]，長嶋大地[3,4]，出雲信夫[1,4]（1 横浜薬科大学薬物治療学研究室，2 横浜薬科大学薬学教育センター，3 横浜薬科大学臨床薬剤学研究室，4 横浜薬科大学総合健康メディカル研究センター）

O-4. 大豆成分の腎線維化抑制効果について

○神山真澄[1]，飯島琴衣[2]，川上和奏[1]，小林真樹[1]，髙橋千尋[1]，中川心愛[1]，松田夏実[1]，茂木千春[1]，渡辺章夫[3]（1 十文字学園女子大学人間生活学部食物栄養学科，2 十文字学園女子大学大学院人間生活学研究科食物栄養学専攻，3 十文字学園女子大学人間生活学部食品開発学科）

O-5. レスベラトロールの活性酸素消去能が腎線維化に及ぼす影響

○森 紅葉[1]，飯島琴衣[2]，川上和奏[1]，小林真樹[1]，髙橋千尋[1]，中川心愛[1]，松田夏実[1]，茂木千春[1]，渡辺章夫[3]，神山真澄[1]（1 十文字学園女子大学人間生活学部食物栄養学科，2 十文字学園女子大学大学院人間生活学研究科食物栄養学専攻，3 十文字学園女子大学人間生活学部食品開発学科）

O-6. アンジオテンシノーゲンを介する腎線維化メカニズムにおけるルチンの効果

○野村ことみ[1]，飯島琴衣[2]，川上和奏[1]，小林真樹[1]，髙橋千尋[1]，中川心愛[1]，松田夏実[1]，茂木千春[1]，渡辺章夫[3]，神山真澄[1]（1 十文字学園女子大学人間生活学部食物栄養学科，2 十文字学園女子大学大学院人間生活学研究科食物栄養学専攻，3 十文字学園女子大学人間生活学部食品開発学科）

詳細プログラム　【第２日目：11 月 22 日（日）】

第１会場（看護学部棟４Ｆ・13411）

●会長講演　09:00-09:45

座長：新井英一（静岡県立大学）

機能性食品の展開医療研究～基礎から臨床へ～
森本達也（東邦大学医学部薬理学講座，静岡県立大学薬学部）

●スポンサードシンポジウム　09:55-11:15

台湾における機能性食品市場の展開と日台連携の可能性：法規制・エビデンス構築・市場導入支援の視点から

座長：洪 志駿（メドガイアライフサイエンス/(株)メドガイア日本），渡邉泰雄（横浜薬科大学総合健康メディカルセンター）

SS-1．台湾の機能性食品制度と日台市場導入の実務
洪 志駿（メドガイアライフサイエンス（麥德凱生科股份有限公司），株式会社メドガイア日本）

SS-2．ヤギ乳由来ペプチドの保健機能食品の可能性
河野光登（九州女子大学）

SS-3．日本版機能性表示食品の台湾における保健機能食品での展開における可能性
○陳 俊榮[1]，出雲信夫[2,5]，古川 恵[2]，青木亮憲[3]，渡邉泰雄[1,4]（1 台北医学大学，2 横浜薬科大学薬物治療学研究室，3 横浜薬科大学薬学教育センター，4 横浜薬科大学総合健康メディカルセンター，5 横浜薬科大学総合健康メディカル研究センター）

●シンポジウム３　食品素材の機能性研究の最前線―基礎から健康長寿への展開―　11:25-12:45

座長：山田静雄（静岡県立大学），佐藤健司（株式会社ファーマフーズ）

S3-1．発酵食品および食品タンパク質加水分解物に含まれる「隠れた」生理活性ペプチド
佐藤健司（株式会社ファーマフーズ）

S3-2．多機能性を有する伝統食材を応用した男女中高年特有疾患発症に対する抑制効果
○渡邉泰雄[1]，千葉輝正[2]，古川 恵[3]，出雲信夫[3,4]（1 横浜薬科大学総合健康メディカルセンター，2 日本薬科大学薬学部薬学教育センター，3 横浜薬科大学薬物治療学，4 横浜薬科大学総合健康メディカル研究センター）

S3-3．還元型コエンザイム Q10 の生体内作用メカニズムと臨床応用
澤下仁子（株式会社カネカ Pharma & Supplemental Nutrition Solutions Vehicle）

S3-4．ワインビネガーの魅力に迫る
杉山 篤（山梨臨床薬理研究所，甲州リハビリテーション病院）

●ランチョンセミナー３　（共催：カゴメ株式会社）　13:05-14:05

座長：三好規之（静岡県立大学）

L3. 食品成分による血管機能への影響〜カロテノイドとポリフェノール〜
越阪部奈緒美（芝浦工業大学システム理工学部，株式会社感覚栄養学研究所）

●シンポジウム４　ノビレチン研究の新展開―多様な生理活性と医療応用への可能性―　14:15-15:35

座長：禹 済泰（中部大学），三浦伸一郎（福岡大学）

S4-1. ノビレチンの多様な生理活性とその作用メカニズム：最近の研究動向
禹 済泰（中部大学応用生物学部応用生物化学科）
S4-2. 柑橘類由来ノビレチンによる SIRT5/p300 軸を介した心肥大・心不全抑制メカニズム
砂川陽一（静岡県立大学薬学部分子病態学分野, 国立病院機構京都医療センター展開医療研究部）
S4-3. ノビレチンおよびスダチチンを中心としたポリメトキシフラボンの心血管機能の調節
野口和雄（武庫川女子大学薬学部健康生命薬科学科食品機能科学研究室）
S4-4. 柑橘フラボノイドによる膵β細胞保護作用と糖尿病治療への展開
金子雪子（静岡県立大学薬学部薬理学分野）

第２会場（看護学部棟４Ｆ・13402）

●一般演題５　機能性食品に関する多彩な研究　09:55-10:55

座長：多賀昌樹（和洋女子大学），青山敏明（京都光華大学）

O-7. 卵巣摘出モデルマウスの自発運動量低下に対するエクソソーム含有プラセンタ抽出物の効果
○古川 恵[1]，青木亮憲[2]，辻祐太朗[3]，高橋達治[3]，出雲信夫[1,4]（1 横浜薬科大学薬物治療学研究室, 2 横浜薬科大学薬学教育センター, 3 一丸ファルコス株式会社, 4 横浜薬科大学総合健康メディカル研究センター）
O-8. エノキタケ粉末エキスの男性更年期症状改善作用
○山田靜雄[1]，白井みち代[1]，長島浩二[2]，望月 淳[2]，影山慎二[3]（1 静岡県立大学大学院薬食研究推進センター，2 株式会社テクノスルガ・ラボ，3 かげやま医院）
O-9. 生キクイモ塊茎中のイヌリン含有量に対する採取時期および酢漬けの影響
○友寄博子[1]，富山結羽[2]，赤星優紀[2]，谷口文香[2]，佐藤崇雄[3]（1 熊本県立大学，2 熊本県立大学環境共生学部，3 熊本県産業技術センター）
O-10. 日本人におけるポリフェノール摂取タイミングの特徴とクロノタイプとの関連
○大籔晃平，岸本良美（摂南大学農学部食品栄養学科）
O-11. 大学生におけるカロテノイド摂取量と皮膚カロテノイドおよび網膜黄斑色素スコアの関連
○山口凜々子，金井来未，清水珠妃，大籔晃平，加藤未羽，郡司 剛，織田奈央子，岸本良美（摂

南大学農学部食品栄養学科）

O-12. 鶏卵黄シアル酸糖鎖物質の抗ヒトインフルエンザウイルス活性

○小俣義明[1]，小林 豊[2]，工藤充雄[2]，眞弓陽香[1]，鈴木康夫[1]，武田収功[1]，飯塚 徹[3]，佐藤秀明[4]，守金眞滋[1]，守金大蔵[2]（1 ウイルス感染予防研究所，2 ダイヤ製薬株式会社，3 横浜薬科大学薬学部生薬学研究室，4 久留米大学医学部医化学講座）

●一般演題 6　腸内細菌・筋分化・脂肪細胞・高血糖と機能性食品　11:25-12:05

座長：矢野友啓（東洋大学），木内俊介（東邦大学）

O-13. クロレラ（*Parachlorella beijerinckii*）摂取による腸内細菌叢変化を介した腸管機能調節と便秘改善作用の検討

○江崎祥大[1]，野口直人[1]，菅野敏博[1]，山田 亮[2]，坂井勇介[3]，塩澤誠司[3]（1 クロレラ工業株式会社研究開発部，2 久留米大学先端癌治療研究センター，3 久留米大学医学部疾患モデル研究センター）

O-14. 褐色脂肪組織に対する腸内細菌代謝物 HYA の効果とメカニズムの解明

○萱沼ななみ[1]，伊美友紀子[1]，林 美穂[2]，庄司悠里[2]，保坂真紀[1]，砂川陽一[1]，刀坂泰史[1]，細岡哲也[1]（1 静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府薬科学専攻分子病態学講座，2 静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府食品栄養科学専攻生理学研究室）

O-15. コラーゲン由来トリペプチド（EOG）の筋芽細胞における筋分化促進作用

○目黒拓馬, 君羅好史, 大澤吉弘, 森谷将吾, 真野 博（城西大学大学院薬学研究科医療栄養学専攻）

O-16. 3T3-L1 脂肪細胞における Daidzein および Equol のベージュ化促進作用の検討

○伊藤朱莉[1]，森内那奈[2]，小林正樹[3]，飯田薫子[3]（1 お茶の水女子大学大学院ライフサイエンス専攻，2 お茶の水女子大学大学院，3 お茶の水女子大学基幹研究院）

第 1 会場（看護学部棟 4 F・13411）

●閉会式・表彰　15:45-16:05